

用語集

(職務分析表などに記述されている主だった用語やそれに関連する用語の読み方と意味を記す。)

	用語	読み	意味
1	IE	あいいー	Industrial Engineering 生産工学、経営工学、産業工学、管理工学のこと
2	アウトリガー	あうとりがー	トラッククレーンなどの転倒を防ぐため、車体から外に張り出す支柱
3	圧送	あっそう	フレッシュコンクリートをポンプによって圧力をかけ、輸送管を通して離れた場所へ送ること
4	安全書類	あんぜんしょるい	元請に提出する労働安全衛生法・建設業法関係の書類（労働安全衛生法関係書類、労働者名簿、施工体制台帳、施工体制図、再下請負通知書）の総称
5	安全帯	あんぜんたい	命綱のこと 高所作業での転落災害を防止するために着用するベルトのこと
6	安全ブロック	あんぜんぶろっく	昇降時の垂直移動や高所作業中での墜落事故を防止する器具
7	打込み	うちこみ	練り混ぜたフレッシュコンクリートを、型枠内に投入すること 投入したコンクリートを充填する作業まで含めていうことがある。
8	打継ぎ	うちつぎ	コンクリート構造の階ごとや、いくつかに区分して打ち込む時、最初に打ち込んだコンクリートと後から打ち込むコンクリートとの接合部のこと
9	埋め戻し	うめもどし	工事のために土を掘削した部分に、後から土を入れ直して元のように戻すこと
10	親杭（H鋼）横矢板	おやぐい（えいちこう）よこやいた	山留め的一种。地下躯体の周囲に、1～1.5m間隔にH形鋼・I形鋼・レールなどの親杭を底盤より深く打ち込み、その間に山留め壁としてはめ込む木製の板のこと
11	親綱	おやづな	作業員が墜落の危険がある場所で使用する安全帯（命綱）を取り付けるのに設置するロープ
12	親綱支柱	おやづなしちゅう	親綱を設置するための支柱
13	外部足場	がいぶあしば	建築工事の建物周囲に組み立てる仮設足場で、作業員の安全確保・作業床・通路などの目的で設置する。大半は鋼製
14	仮設	かせつ	工事を安全かつ効率よく行うために設置する、外部足場や仮設の電気及び水道などの設備 ※ 建築現場に入るすべての施工者が使用する仮設を「共通仮設」、個々の場所で使われる仮設を「直接仮設」という。
15	壁つなぎ	かべつなぎ	足場の倒壊を防ぐため、建物躯体と足場の建地を繋ぐ控え材
16	仮囲い	かりかこい	工事期間中、安全や盗難防止のために工事現場の周囲に設ける塀
17	仮ボルト	かりぼると	仮締めボルトともいう。鉄骨工事の仮締めに使うボルトで、本締め用ボルト本数の1/3以上必要。
18	CAD	きゃど	Computer Aided Design コンピューターを用いて設計をすること、もしくはコンピューターによる設計支援ツールのこと

	用語	読み	意味
19	QC	きゅーしー	Quality Control 品質管理
20	共通仕様書 (建築工事標準仕様書)	きょうつうしょうしょ (けんちくこうじひょうじゅんしょうしょ)	工事に対する設計者の指示のうち、図面では表すことのできない点を文章や数値などで表現するもので、品質、成分、性能、精度、製造や施工の方法、部品や材料のメーカー、施工業者などを指定するもの ※ 共通仕様書と特記仕様書がある。共通仕様書はどの工事にも適用される仕様書のこと、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準仕様書」が使用される場合が多い。特記仕様書は個別の工事に対する仕様書を指す。
21	杭地業	くいちぎょう くいじぎょう	地業の一種 杭を打って建物の基礎を支える工法、またはその工事
22	杭間ざらい	くいまざらい	杭打ちの際に盛り上がった頂部の土をさらって、平らにすること
23	躯体図	くたいず	コンクリート寸法図、各部のコンクリートの形状、寸法を詳細に示した施工図
24	グラウト	ぐらうと	注入用のセメントペーストや薬液などの注入材の総称
25	原価管理	げんかかんり	現場担当者が費目を予想して現場を改善し、原価を予算内に納めること
26	現寸図	げんすんず	仕上がりと同寸法で描いた図面 建具工事・金属工事・管工事の細部の納まり図や鉄骨の製作図など現状を優先するので原寸図ではなく現寸図を用いる。
27	建設用エレベータ (工事用エレベータ)	けんせつようえれべーた (こうじようえれべーた)	積載荷重0.25t以上でガイドレールの高さが10m以上の建設用リフト、荷揚げ用エレベータ、ロングスパンエレベータなどがある。 これらは、荷揚げ用であるが、定員が定められている建設用エレベータは人も乗ることができる。設置にあたっては、最大積載量により提出すべき報告書や検査が異なる。
28	建設用リフト	けんせつようりふと	資機材などを上下方向へ運搬する機械装置 荷のみの運搬を目的としており、人は乗らない。
29	工程計画	こうていけいかく	工事が予定の工期内で終わるように、工事の順序、速度などに関して立てられる計画のこと
30	高力ボルト	こうりょくぼると	ハイテンションボルト、高張力鋼で作られた非常に硬度の高いボルトで、大きな軸力を与えて鋼材を締め付け、摩擦力で接合させるのに用いるボルト
31	コラムロック	こらむろっく	鉄骨部材を揚重する際に使用する吊り治具のことで、操作ワイヤを使用する事で地上で柱からの取外しができる吊り治具
32	コンクリートポンプ	こんくりーとぽんぷ	コンクリートを輸送管を通して圧送する機械。圧送機構によりピストン式とスクイズ式がある。
33	砕石	さいせき	岩石や玉石を砕き、5mm以下の粒をふるい落として作った粗骨材⇔砕砂
34	作業手順書 (施工手順書)	さぎょうてじゅんしょ (せこうてじゅんしょ)	実際の工事状況に合わせたマニュアル 作業を安全に効率よく確実にを行うための流れと方法をまとめたもの
35	作業標準書	さぎょうひょうじゅんしょ	工事の一般的なマニュアル 作業するうえで守らなければならないルールやコツをまとめたもの
36	残土処分	ざんどしょぶん	基礎根切り(掘削)によって発生し、場内で処理(埋め戻しや盛土等)ができない場合に、外部へ場外処分すること

	用語	読み	意味
37	地足場（基礎足場）	じあしば（きそあしば）	基礎工事で作業場に高低差がある場合、作業のしやすいような高さに架ける足場
38	資材管理	しざいかんり	工事に使用する資材の計画、購買（調達）、保管、消費を合理的に遂行するために行う管理活動
39	JIS	じす	JIS（日本工業規格）のA分類が土木及び建築である。建築図面、木材材料などについての規格が示されている。改正や廃止があるので要注意。
40	地盤調査	じばんちょうさ	基礎の設計・施工に必要な地盤の地質構成・地下水位・各層の強度・変形特性・物理的性質などを調査・試験すること
41	地盤現象	じばんげんしょう	根切りを行った際の地盤の現象（ボイリング、パイピング、ヒービング、盤ぶくれ） ボイリング(boiling)：砂質土の根切り底で、上向きの水圧により水と共に砂が吹き上がる現象で、湧き出しともいう。 パイピング(piping)：水位差のある砂地盤中にボイリングで地盤に空洞ができて水が通り易くなった状態のこと ヒービング(heaving)：軟弱粘土層を土留めしながら掘削する際に、土留め壁背面の土が掘削面に回り込んで根切り底面を押し上げる現象 盤ぶくれ：軟弱な粘土質地盤に盛土をする際に、盛土周辺の地盤が盛り上がること
42	支保工	しほこう しほうこう	上部や横方向からの荷重を支えるために使用する仮設構造物で、型枠支保工はスラブや梁受けのパイプサポート、仮設の構台を支える乗入れ構台や山留め壁を支えるための切梁等をいう。
43	締固め	しめかため	軟かい土・盛土・埋戻しの土に対して突固め・転圧・振動・注水で密実にする事 突棒や振動機でコンクリートを型枠内の隅々まで密実に充填すること
44	ジャッキベース	じゃっきべーす	枠組み足場の建枠の足元にセットする高さ調整可能な部材で、レベル調整に使う。
45	JAS	じゃす じえいえーえす	日本農林規格 コンクリート型枠用合板等の類別や等級等の規格
46	JASS5	じゃすご じゃすふあいぶ	JASSは日本建築学会工事標準仕様書（Japanese Architectural Standard Specification）で、各種建築材料および施工基準の仕様を定めている。JASS5は鉄筋コンクリート工事についての建築工事標準仕様書・同解説である。
47	詳細図	しょうさいず	施工計画図に基づき、施工の詳細を図面化したもの
48	捨てコンクリート	すてこんくりーと	割栗石や砂利地業の上を平坦にして、基礎の墨出し、型枠の建込み、鉄筋の配筋などをするために打ち込まれるコンクリート 割栗石（わりぐりいし）とは栗石（ぐりいし）を10センチ程度に割った石のこと 栗石は河原で採集できる直径が15センチ程度の丸みを持った石のことで、単にグリとも呼ばれる。
49	捨てパイプ	すてぱいぷ	仮囲いについて建地（支柱パイプ）の根がらみパイプを設置するためにあらかじめ地盤に埋め込んでおく単管を捨てパイプという
50	スライム	すらいむ	現場打ちコンクリート杭や地中連続壁の施工のとき、掘削した底部にたまった泥分のこと。地耐力の低下をきたすので、コンクリート打込みの前に取り除く必要がある。

	用語	読み	意味
51	スラブ	すらぶ	平面の荷重を支える鉄筋コンクリート製の板状の盤で、一般には床スラブを指すことが多い。ここでは、床スラブである。
52	施工計画	せこうけいかく	工事の全体工程や施工条件を反映して工事予定を考えること 施工計画は書面（施工計画書）にして設計者に提出し、承認を受ける。
53	施工計画図	せこうけいかくず	施工手順、機器配置などの施工計画を図面化したもの
54	施工詳細図	せこうしょうさいず	施工計画図に基づき、施工の詳細を図面化したもの
55	施工図	せこうず	設計図書に基づいて施工段階で作成されるもので、施工管理（元請が行う）と施工（専門工事業者が行う）のために作成される図面
56	施工体制図 （施工組織図）	せこうたいせいず （せこうそしきず）	施工体制台帳に基づいて、各専門工事業者の施工分担関係が一目で分かるようにした図 ※ 工事に携わる関係者全員が工事における施工分担関係を把握することができる。建設業法により作成・掲示の義務がある。
57	施工要領書	せこうようりょうしょ	工種別の工事概要、仕様、材料、作業管理、安全管理、施工手順等の指示内容を示すもの 施工計画書に基づき作成される。
58	設計図書	せつけいとしょ	建築工事の図面（意匠図、構造図、設備図）及び仕様書 意匠図：建物の平面図、立面図、断面図など意匠図面の総称 構造図：建物の梁、柱など構造に関する図面 設備図：給水、排水、給湯、ガス、電気（弱電含む）、空調などの設備関係の配管、配線やその仕様などを記載した図面 仕様書は「21 共通仕様書」を参照のこと
59	先行手摺	せんこうてすり	手すり先行足場の最大の特徴は、足場の組立・解体時に常に先行して手すりが設置できることである。 最上段でも常に外側を手すりですり込まれた状態で作業ができるため、墜落の危険性が低くなる。
60	建入れ直し	たていれなおし	柱を建てたり、建具を取り付けたりするときの垂直方向の調整をすること
61	建て方	たてかた	構造部の組立作業
62	建地 （支柱パイプ）	たてじ （しちゅうぱいぷ）	仮囲い及び単管抱き足場の縦方向の部材
63	玉掛け	たまがけ	重量物をクレーンなどで揚重・移動する際に重心を失わないようワイヤーロープなどをかけること 玉掛け作業者は労働安全衛生法で定められた資格が必要
64	タワークレーン	たわーくれーん	建設用揚重機のひとつ 架台+ポスト上にブームとカウンターウエイトを取り付け、ブームで荷を吊り上げる。また、自立高さを超えた場合には、油圧で上昇させるクライミング式のものが使われる。
65	単管足場	たんかんあしば	単管をクランプ（緊結金具）や継手金具を用いて組立てた足場 「抱き足場」、「鋼管足場」ともいう。
66	チェーンエコライザー	ちえーんえこらいざー	鉄骨柱を建て起こす際、均等にバランスを取るためのチェーンのこと

	用語	読み	意味
67	地業	ちぎょう じぎょう	基礎工事のうち、それを支えるため直接地盤に行う部分
68	筒先	つつさき	コンクリート打設のコンクリートポンプ車のホース（輸送管）先端部分のこと
69	つり上げ用 フック	つりあげようふっ く	鉄骨部材を揚重するために鉄骨部材に取り付ける金具
70	吊りチェーン	つりちえーん	鉄骨部材を吊り上げるためのチェーン 吊り足場にも使用
71	出来形確認	できがたかくにん	出来形（工事の物理的に出来た部分、状態）を確認すること
72	出来高	できだか	出来形部分の請負代金相当額
73	出来高査定	できだかさてい	工事出来高表の確認を行い、適正な支払金額を計算すること
74	鉄筋コンク リート（RC）	てっきんこんく りーと（あーる しー）	鉄筋とコンクリートを組み合わせて相互の短所を補いあった構造材料で、コンクリートの材質で普通鉄筋コンクリートと軽量鉄筋コンクリートに区分される。 RCは Reinforced Concrete の略で、鉄筋コンクリートによる構造物は鉄筋コンクリート造またはRC造といわれる。
75	鉄骨造（S造）	てっこつぞう（え すぞう）	建築物の構造躯体方法の一つ SはSteelの略
76	土工工事	どこうこうじ	土砂の掘削・埋戻し・盛り土やコンクリート打設などの作業のこと 本調査研究では、日本標準産業分類（第12回改訂版）を参考に「土工工事（どこうこうじ）」とした。
77	床付け	とこづけ	計画深さまで根切りを行った後、正確に平滑に均して仕上げること 仕上がった面を床付け面という。
78	とび（鳶）	とび（とび）	とび職（鳶職）のこと 仮囲いや足場の組立・解体、鉄骨建て方などを行う専門技能者
79	トラックアジ テータ	とらっくあじてー た	トラックにアジテータを搭載し、フレッシュコンクリートを攪拌しながら荷下し地点まで運ぶ運搬車
80	トランシット （セオドライト）	とらんしっと （せおどらいと）	望遠鏡が鉛直軸と水平軸の2軸によって回転する構造で、水平軸と角度（水平角と鉛直角）を計測する測量機器 角度の読み取りにはバーニア式・マイクロメータ式・デジタル式などがある。トータルステーションは光波測距儀と組み合わせた機器である。 以前は、トランシット（transit）とセオドライト（theodolite）は、その発展過程や機構により区別されていたが、現在は双方とも総称として用いられている。
81	トレミー管	とれみーかん	地中連続壁などに水中コンクリートを打ち込む時に用いる鋼製の管（パイプ）で、先端には水を逆流させないための装置が付けられている。
82	荷解きヤード	にときやーど	建築現場内において部材を先行搬入し、揚重するための場所
83	根切り	ねぎり	建造物の基礎や地下室を構築するため、地盤面以下の部分を掘削すること
84	排水工法	はいすいこうほう	地盤を掘削した際の地下水処理方法

	用語	読み	意味
85	バイブレータ	ばいぶれーた	コンクリート打設の際に、振動を与えることでコンクリート内の気泡発生防止、型枠内や鉄筋・鉄骨間に密実なコンクリートを充填する機械 棒状の振動機を垂直挿入する内部振動機と、型枠の外側やコンクリートスラブ面・舗装面に振動を与える外部振動機がある。コンクリート振動機、単に振動機ともいう。
86	ハーネス	はーねす	ハーネス（高所作業用安全帯）には胴ベルトタイプとフルハーネスタイプがある。 フルハーネスは胴部の他に腿や肩にもベルトを通し、全身を保持する安全帯である。
87	巾木（幅木）	はばき（はばき）	足場上において、人の墜落防止や物の落下防止のために設置される巾15cm以上の仮設材（作業床からの落下物による労働者の災害防止措置を目的とする場合は、巾木の巾は10cm以上）
88	飛散・転落防止用ネット	ひさん・てんらくぼうしょうねっと	塗料等の飛散や作業員の足場からの転落を防止し、第三者を対象とした公衆災害防止対策用として使用されるシートやネット
89	品質管理	ひんしつかんり	施工要領書・発注書で要求されている精度を確保すること ※ 工事が完了すると撤去されてしまう仮設工事については、品質としては施工精度を確保することが目標となる。
90	品質管理計画書	ひんしつかんりけいかくしょ	仕様書等に規定のある品質管理基準や社内自主基準等を満たすことを確認する計画書 ※ 品質の管理方法や検査方法、基準などが定められる。
91	VE	ぶいいー	Value Engineering 提出金額と品質の再評価（同じ品質を保ちながら工法・材料など変更・原価低減提案）すること
92	ブレース（筋かい）	ぶれーす（すじかい）	水平荷重による変形を防ぐために柱間に対角線に入れる斜材
92	ベースコンクリート	べーすこんくりーと	布基礎（ぬのぎそ）の一番下（底板部）のコンクリートのことで、フーチング（footing）ともいう。 布基礎はコンクリート製の連続基礎のこと
93	本締め	ほんじめ	鉄骨建て方において、歪み直しが終了した後、仮締めボルトを抜いて、本ボルトに交換して締めること
94	盛替	もりかえ	工事の進行に沿って、既に設置されている仮設等を組み替えること
95	根切り	ねぎり	建造物の基礎や地下室を構築するため、地盤面以下の部分を掘削すること。
96	櫓	やぐら	仮設の足場のうち、柱周りにまわる足場のことをいう。主に、鉄筋コンクリート造の建物などで、鉄筋を組み上げるために鉄筋足場を必要とし、地中梁を組むため設置されるもの
97	山留め	やまどめ	根切り工事に際して、周辺地盤の土圧を支えて崩壊を防ぐこと。工法には、H鋼横矢板・シートパイル・SMW（Soil Mixing Wall）工法等があり、深さによっては切梁・腹起こしを設置し、地盤の崩壊を防ぐ。 切梁・腹起こしは、外周山留めが自立しない場合、構造計算に基づき設置する水平材
98	輸送管	ゆそうかん	フレッシュコンクリートをコンクリートポンプ車よりコンクリート打設箇所まで運搬する管

	用語	読み	意味
99	揚重機	ようじゅうき	荷揚げ機械の総称
100	養生	ようじょう	モルタル塗やコンクリート打込み後、硬化に必要な水分や温度を確保するための処置 ひび割れや凍結防止効果もある。
101	横地 (布パイプ)	よこじ (ぬのばいぷ)	仮囲いについて縦地(支柱パイプ)を横方向に架構する単管パイプを横地(布パイプ)という
102	予算書	よさんしょ	工事を行うための原価や適正利益などの概算費用を計算したもの
103	ランマー	らんまー	ガソリンエンジンの爆発反力を利用して土・砂利・割栗石などを締め固める機械で、手で持って落下時の自重と衝撃を利用する。
104	レベル	れべる	一定の物体の地面に対する角度や傾斜(水平、垂直、45度など)を確認する器具のこと
105	労働安全衛生法	ろうどうあんぜん えいせいほう	労働者の安全と衛生についての基準を定めた日本の法律

※とび・土工・コンクリート工事業で一般的に使用している用語と意味を記述した。建設大辞典(第2版)(彰国社)、図解建築・大工用語辞典(井上書院)、図解建築施工用語集[改訂版](井上書院)、図解建築現場用語辞典(ナツメ社)などの文献やインターネット上の用語集(建築用語net、住宅建築専門用語辞典など)を参考に、団体・企業へのヒアリングを通して知り得た用語の言い回しや意味を取りまとめた。参考文献(88～90頁)を参照されたい。